

館取町 地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

凡例 上段赤字：当初  
下段黒字：変

更

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>館取町地区は、令和元年東日本台風をはじめ、過去 10 年間に集中豪雨による大規模な浸水被害が発生し、多数の家屋、公園等の都市機能に影響を及ぼしたことから、さらなる整備促進が急務である。</p> <p>なお、館取町地区は過去 10 年間に複数回の浸水被害があり、当該浸水の延べ浸水面積は 35ha、延床上浸水戸数は 210 戸、延べ浸水戸数は 263 戸である。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨：45mm/h</li> <li>・目標とする理由：公共下水道事業計画において設定している計画降雨 (7年確率 45 mm/h ※)</li> <li>※既往最大降雨（平成 23 年 9 月及び令和元年東日本台風時）</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：45mm/h</li> <li>・ソフト対策による対象降雨の目標：内水ハザードマップ作成業務にて策定中</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 生命保護の観点：当該排水区に存在する高齢者、障がい者等要配慮者関連施設、幼稚園等の保育所施設、病院 5 箇所の浸水被害を解消する。</li> <li>ii) 都市機能確保の観点：当該排水区に存在する洪水避難場所、商業地域・近隣商業地域、市役所などの主要施設、鉄道・主要道路（国道、県道）等の浸水被害を解消する。</li> <li>iii) 個人財産保護の観点：家屋の浸水被害を解消する。</li> <li>iv) その他：特になし</li> </ul> <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備により 45mm/h の降雨において浸水被害を解消することを目的とする。</li> </ul> </li> <li>ii) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備で対象とする降雨量 45 mm/h を上回る降雨においては、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による土のう設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。</li> </ul> </li> </ul>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <del>策定予定</del> (令和4年12月末策定予定)</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">策定</span> (令和4年8月末策定済)</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポンプゲート場の整備 排水能力 294m<sup>3</sup>/分</li> <li>・ 流入函渠整備 □2500×2000 L=75m</li> <li>・ 放流施設(樋管)整備 □2500×2000 1基</li> </ul>
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貯留施設 (V=25,000 m<sup>3</sup>) を近隣公園内に整備 (公園管理者: 須賀川市都市計画課)</li> </ul>
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内水ハザードマップの作成・公表</li> <li>・ 降雨情報の収集と提供</li> <li>・ 水位観測情報の提供</li> </ul>
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園内避難施設の広報 (須賀川市都市計画課)</li> <li>・ 防災カメラの設置</li> </ul>
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土のう作成及び設置</li> </ul>
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主避難訓練</li> </ul>

年度計画（百万円）

名 称	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	計
流入函渠		61 30	0 100		61 130
特殊マンホール			5 14		5 14
雨水ポンプ場	242 233	145 213	370 57	120	757 623
電気室		41 0	0 126	20	41 146
放流施設（樋管）		81 52	35 145	20	116 217
付帯工（四阿撤去、上 下水道切廻し等）	9 0	61 68	33 0	50	103 118
計	251 233	389 363	443 442	210	1083 1248

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>・ 過去 10 年間の豪雨と同規模の降雨（既往最大雨量 45mm/h）に対して、地区内の浸水被害を解消する。</p> <p>&lt; 事業評価の内容 &gt;</p> <p>被害額：584 百万円が削減される。</p> <p>388</p> <p>B/C：1.5</p> <p>1.3</p> <p>経済的内部収益率：7.2%</p> <p>5.8</p>
放流先河川との調整状況	<p>現在、放流先河川の整備状況は、計画日雨量確率 1/50、計画日雨量 200 mm/日、計画時間雨量（平均）26.6 mm/h により、計画高水流量 1,100m<sup>3</sup>/s にて暫定改修済みであるため整合性が図られている。</p>
その他	<p>河川への内水排水が出来ない場合の対応として、公園管理者である本市都市計画課が貯留施設（V=25,000 m<sup>3</sup>）を排水区域内の公園に整備することにより、地域住民が安全な避難場所へ避難するための時間（約 80 分）を確保する。</p>

# 館取町地区 大規模雨水処理施設整備事業計画の変更

## ○対象計画

館取町地区 大規模雨水処理施設整備事業計画(個別補助金)

本事業は平成23年9月及び令和元年東日本台風の豪雨により、甚大な内水浸水被害が発生した館取町地区において、ポンプゲート施設の整備を行い、浸水被害の解消を図るもの。

## ○変更内容

本事業について、上記計画により事業を進めているが、建築確認の結果や現場状況、資材等高騰の影響により実施設計が変更となったことから、事業計画を以下のとおり変更する。

全体事業費を変更する。

事業計画を延長し、令和5年度までとする。

変更内容	当初	変更
全体事業費	約11億円	約13億円
事業計画	令和3年度 ～令和4年度	令和3年度 ～令和5年度

## 当初

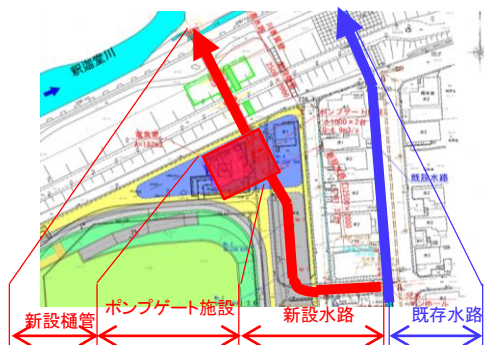
○事業内容:ポンプゲート施設  
(排水能力294m<sup>3</sup>/分)  
流入管渠  
放流施設(樋管)  
電気室(1階)  
仮設工事  
(鋼矢板圧入)

○事業期間:令和3年度  
～令和4年度

○全体事業費:約11億円

<被害軽減効果>

・浸水戸数 :196戸 ⇒ 0戸  
・浸水面積 :31ha ⇒ 0ha  
B/C=1.5



## 変更

○事業内容:ポンプゲート施設  
(排水能力294m<sup>3</sup>/分)  
流入管渠  
放流施設(樋管)  
電気室(2階)  
仮設工事  
(鋼矢板硬質地盤圧入)  
河川堤防かさ上げ

○事業期間:令和3年度  
～令和5年度

○全体事業費:約13億円

<被害軽減効果>

・浸水戸数 :196戸 ⇒ 0戸  
・浸水面積 :31ha ⇒ 0ha  
B/C=1.3

